**【テーマ２】　ＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化とＩＲ誘致に向けた理解促進**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ギャンブル等依存症や治安・地域風俗環境などＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化を図るとともに、ＩＲ誘致にあたって府民のコンセンサスを得るため、戦略的に情報発信を行い、理解促進を図ります。  （中長期の目標・指標）  　・ギャンブル等依存症、治安・地域風俗環境などＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化に向けた対策を推進する。  　・ＩＲ誘致にあたって府民のコンセンサスを得る。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **ＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化とＩＲ誘致に向けた理解促進** | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（H31.３月末時点）＞** |
|  | **■ギャンブル等依存症や治安・地域風俗環境対策の推進**  　　・ＩＲ誘致を契機にギャンブル等依存症の抑制を図るため、新たに高校生を対象に依存症の予防教育に取り組む。  ・依存症対策のトップランナーをめざし、全国をリードする依存症対策（＝大阪モデル）の構築に向けた検討を進める。  ・治安・地域風俗環境対策の具体的な取組み内容を検討する。  （スケジュール）  2018年4月～：高校生向け依存症予防啓発や出前授業、依存症セミナーに向けた関係各所との調整、事業実施  　　　　　　　　　　　　治安・地域風俗環境対策にかかる関係機関等との協議・検討  2018年５月～：ギャンブル等依存症対策研究会の設置、依存症の実態把握や依存症対策にかかる調査・研究  **■府民の興味・関心に応じた戦略的な情報発信**  　　・よりきめ細かく丁寧な対応に努めるため、府民全体に加えて、地元企業や女性・ファミリー層、大学生・若い世代を対象にした戦略的な情報発信などを行い、理解促進を図る。  （スケジュール）  2018年4月～：対象別の戦略的な情報発信手法の検討、関係各所との調整、事業実施  各種セミナーや出前講座等を順次開催 | ◇活動指標（アウトプット）  ・府内すべての高校３年生（311校・約9万人）を対象に、ギャンブル等依存症対策のリーフレットを作成・配付。  ・依存症予防などに関する出前授業を10回以上実施。  ・テーマに応じてギャンブル等依存症対策研究会を適宜開催。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・高校生を中心に、ギャンブル等依存症に対する正しい理解を促進。  ・全国をリードする依存症対策の構築に向け、ギャンブル等依存症対策研究会での検討内容を取りまとめる。  ・実効性のある具体策の検討を進め、良好な治安及び善良な地域風俗環境の確保をめざす。  ◇活動指標（アウトプット）  ・各種セミナーを12回以上開催。  ・団体や大学等への出前講座や関連セミナー等への協力（講師派遣など）  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・ギャンブル等依存症などの懸念事項にかかる対応策も含め、ＩＲに対する府民理解の向上を図る。  （数値目標）  ・各種セミナーや出前講座等の参加者数2,500名以上 | ○高校3年生向け依存症予防リーフレットを関係部局と連携の上、作成し、12月に府内高校に配布した。  ○依存症予防等に関する高校生向け出前授業を９校で実施した（参加生徒数 約2,800名）。  ○5月に設置した「ギャンブル等依存症対策研究会（９回開催）」での調査研究を踏まえ、独自の対策を大阪ＩＲ基本構想（案）に盛り込んだ。  ○治安・地域風俗環境対策については、ＩＲ整備法の動向等を府警本部と共有するなど、具体的な対策の検討を進めている。  ○ＩＲへの理解を促進するため、対象を明確にし、各々の興味・関心に応じた、戦略的な情報発信に取組んでいる。  　　【開催実績】  ・府民向けセミナー（9回・529名）  ・地元企業向けビジネスセミナー（１回・169名）  ・ギャンブル等依存症予防セミナー（3回・262名）  ・経済団体等との共催講演会や経済団体等への出前講座（18回・881名）  ・大学への特別講演や出前講座、提案・研究発表会  （22回・2,221名）  　・女性・ファミリー層向け出前講座（5回・61名）  　　　　　　　　　　　　　　　合計（58回・4,123名）  ○また、できるだけ多くの方にＩＲについての正しい情報を届けるため、動画（大阪市役所、外98箇所で放映）やリーフレット（府市関連施設等で約18,000部配布）などの広報ツールを活用した情報発信に取組んでいる。 |